

日中歴史文化交流センター 会報

代表理事 露木順一



発行日：2014.5.14

第一回総会が実施された、代表理事の挨拶

5月10日、横浜駅西口にある「かながわ県民センター」で日中歴史文化交流センターの初めての総会を開きました。出発時の会員26人で18人の参加でした。本当にささやかな第一歩です。しかし、日中和解を見果てぬ夢に終わらせないという大きな希望を胸に抱いて出発しました。神奈川に残る中国の文化遺跡の探訪などを通じて県内の日中関係団体の連携を強めて行くことを当面の目標として活動します。



代表理事：露木順一

会の顧問になっていただいた日中協会理事長の白西紳一郎さんが講演をして下さいました。日中協会は1975年設立の日中友好を目指す老舗の団体の一つです。白西さんは設立当初から関わり、これまでの中国訪問回数は600回だということです。現在70歳前半、60年近くの中国とお付き合いです。「生まれも中国」と言われていました。私が怪訝な顔をしていると「日本の中国地方の広島県生まれです。」とにこやかに話してられました。白西さんは日中協会会長で自民党アジアアフリカ議員連盟の会長でもある野田毅衆議院議員らと中国訪問し、帰国された直後に我々の会に顔を出して下さいました。



顧問：日中協会 理事長 白西紳一郎

白西さんの結論は日中関係は依然として厳しい局面にあるということでした。尖閣諸島の問題や安倍総理の靖国神社参拝の影響が残っていて基本的な問題解決には程遠い状況です。日中両国の首脳間に全幅の信頼関係がなければ解決は困難です。米中関係と日中関係が絡み合いながら日本を取り巻く情勢は一段と厳

しくなっています。白西さんの話をうかがいながら、日中和解ははるか彼方だと改めて痛感しました。万が一の武力衝突だってありうると思えてなりませんでした。

しかし、希望を捨てません。日中国交正常化には多くの先人たちの語り尽せぬ労苦があったて達成されました。日中が再び戦火を交えることがあってはなりません。私たちの日中歴史文化交流センターは、民間の極めてささやかな動きです。しかし、日中間の歴史と文化を見つめ直すことを通じて共通項を見出し平和の礎を作るよう努めます。ともに歩く人が多くなれば日中間の深い溝に橋がかかります。道ができれば和解へと歩むことができます。一緒に進もうではありませんか。



交流会を開催した

総会后、中国料理 煌蘭横浜店にて交流会を開催した。美味しい料理、お酒の中で意見を交換し、会員間の親睦を深めました。

活動・イベント案内

「徐福の会との交流会」を6月の「開成町あじさい祭り」時に行います。足柄地区の禹王の遺跡を巡り、交流を深めるものです。詳細は後日、ご案内を行います。

会員募集

皆様のお知り合い等で入会を希望されている方がお見えになりましたらぜひ声をかけて下さい。入会申込書については事務局にお問い合わせをお願いします。



文命って何？

中国の、古代王朝夏の初代皇帝禹こだいおうちょう か しよだいこうていうの別名です。黄河の治水に大きな功績べつめい こうが ちすい こうがあったといわれます。今からおよそ4,000年も前のことです。



神奈川県足柄地区の文命堤碑 遺跡
富士山と酒匂川 足柄の歴史再発見クラブ編集より

お問い合わせ

団体名称 一社) 日中歴史文化交流センター
代表理事 露木順一 電話 090-7425-1888
事務局長 小早川のぞみ 電話 090-3427-4567
Email nityurekibun@gmail.com

以上